



平成28年10月27日

各 位

会 社 名 株式会社 タムラ製作所
代 表 者 名 代表取締役社長 田村 直樹
(コード番号 6768 東証第一部)
問 合 せ 先 取締役上席執行役員
経営管理本部長 橋口 裕作
T E L 03-3978-2031

当社の一部事業の譲渡および当社連結子会社（孫会社）の異動（持分譲渡）に関するお知らせ

当社は、平成28年10月27日開催の取締役会において、下記のとおり、内橋エステック株式会社（以下、「内橋エステック」といいます。）に対して、当社の電子部品事業のうち、サーマル事業（温度ヒューズ・温度ヒューズ付抵抗器の製造・販売）および当社連結子会社（孫会社）であり同事業の製造会社である安全電具(惠州)有限公司の持分を譲渡することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

I. 事業譲渡および持分譲渡の理由

当社は、2013年度から始まった前中期経営計画（2013～2015年度）において、利益重視を徹底した構造改革の一環として、平成27年4月1日に当社グループのなかでサーマル事業を展開していた株式会社タムラサーマルデバイスを吸収合併しております。

また、本年度においては、長期ビジョンとして創業100周年（2024年）を見据えながら、2018年度をターゲットとする第11次中期経営計画（2016～2018年度）「Bilrite Tamura GROWING」を策定しており、そのなかで、収益性の向上を第一の目標とし、資本効率の向上やお客様に価値ある「オンリーワン製品」を提供することも目指しております。

そのような状況の下、当社のサーマル事業においては、一層の競争力強化および経営の効率化を図って参りましたが、当社を含めたサーマル事業を取り巻く業界環境は厳しさを増しております。

一方で、内橋エステックにおいても、当社のサーマル事業と同様の事業を展開しており、同業界においては確固たる地位を確立しておりますが、同社を取り巻く業界環境も当社と同様に厳しさを増しているなかで、それぞれが競合している状況にあります。

今後もお客様に対して安定的・継続的に製品を供給し、また、品質およびサービス向上に向けて当社のサーマル事業を持続的に成長・発展させるためには、当社が有するノウハウと内橋エステック

クの有するノウハウおよび経営資源とを結集することが最良の策と考え、同社への譲渡を判断するに至りました。

II. 事業譲渡

1. 事業譲渡の概要

(1) 譲渡する事業の内容

当社の電子部品事業のうち、サーマル事業に係る資産およびノウハウ、契約上の権利および義務ならびにその他サーマル事業に関する地位を譲渡いたします。

(2) 譲渡する事業の経営成績（平成28年3月期）

	サーマル事業 (a)	連結実績 (b)	比率 (a/b)
売上高	1,105 百万円	84,642 百万円	1.30%
売上総利益	272 百万円	23,680 百万円	1.14%
営業利益	△85 百万円	4,266 百万円	△1.99%
経常利益	△85 百万円	3,928 百万円	△2.16%

(3) 譲渡する事業の資産、負債の項目および金額（平成28年3月31日現在）

資産		負債	
項目	帳簿価額	項目	帳簿価額
流動資産	183 百万円	流動負債	-百万円
固定資産	31 百万円	固定負債	-百万円
合計	214 百万円	合計	-百万円

(4) 譲渡価額および決済方法

譲渡価額は、事業譲渡の相手先との守秘義務の観点から開示は差し控えさせていただきます。

なお、譲渡価額は合理性のある価額として、当該相手先との間で誠実に協議のうえ合意しております。また、決済方法は現金決済を予定しております。

2. 事業譲渡の相手先の概要

(1) 名 称	内橋エステック株式会社		
(2) 所 在 地	大阪府大阪府中央区島之内一丁目11番28号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 藤井 章充		
(4) 事業内容	温度ヒューズ・温度ヒューズ付抵抗器の製造・販売 はんだ・フラックスの製造・販売		
(5) 資本金	92 百万円		
(6) 設立年月日	1949 年 12 月 7 日		
(7) U R L	http://www.uchihashi.co.jp/		
(8) 上場会社と 当該会社の関係	資本関係	該当事項はありません。	
	人的関係	該当事項はありません。	

	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

3. 事業譲渡の日程

(1) 取締役会決議（当社）	平成28年10月27日
(2) 事業譲渡契約書締結日	平成28年10月27日
(3) 事業譲渡期日	平成29年3月31日（予定）

III. 持分譲渡

1. 異動する連結子会社（孫会社）の概要

(1) 名 称	安全電具（惠州）有限公司			
(2) 所在地	中華人民共和国広東省惠州市博羅縣羅陽鎮鷄麻地村第六小組			
(3) 代表者の役職・氏名	董事長 上山 健一			
(4) 事業内容	温度ヒューズ・温度ヒューズ付抵抗器の製造・販売			
(5) 資本金	26,039 千元			
(6) 設立年月日	2006年11月20日			
(7) 大株主および持株比率	TAMURA CORPORATION OF HONG KONG LIMITED 100.0%			
(8) 上場会社と当該会社の関係	資本関係	当社が 100.0%出資する連結子会社（孫会社）となります（間接保有分 100.0%）。		
	人的関係	董事長、董事總經理および董事3名は当社電子部品事業本部のサーマル統括部から出向しております。		
	取引関係	当社または当社の関係会社と当該会社との間には、材料の供給および製品の製造・販売を相互に行っております。		
	関連当事者への該当状況	当社の連結子会社（孫会社）であり、関連当事者に該当します。		
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績および財政状態	決算期	2013年12月期	2014年12月期	2015年12月期
純 資 産		24,140 千元	25,510 千元	26,232 千元 (393 百万円)
総 資 産		30,218 千元	29,794 千元	29,515 千元 (442 百万円)
売 上 高		43,660 千元	43,804 千元	40,786 千元 (611 百万円)

営 業 利 益	△1,471 千元	1,531 千元	1,025 千元 (15 百万円)
経 常 利 益	△1,468 千元	1,461 千元	992 千元 (14 百万円)
当 期 純 利 益	△1,468 千元	1,370 千元	718 千元 (10 百万円)

注) (9) 当該会社の最近3年間の経営成績および財政状態の2015年12月期のカッコ書きは1元を15円換算した円貨を参考表記しております。

2. 持分譲渡の相手先の概要

内橋エステックが新たに設立する子会社(平成28年10月27日時点で未設立)を予定しております。

3. 持分譲渡数、譲渡価額および譲渡前後の所有持分の状況

(1) 異動前の持分出資金額	3,423,914 米ドル (持分比率 100.0%) (352 百万円)
(2) 譲渡持分出資金額	3,423,914 米ドル (持分比率 100.0%) (352 百万円)
(3) 異動後の持分出資金額	－米ドル (持分比率 0.0%) (－百万円)

注) カッコ書きの円貨は1米ドルを103円換算した円貨を参考表記しております。

譲渡価額は、持分譲渡の相手先との守秘義務の観点から開示は差し控えさせていただきます。

なお、譲渡価額は合理性のある価額として、当該相手先との間で誠実に協議のうえ合意しております。また、決済方法は現金決済を予定しております。

4. 持分譲渡の日程

(1) 取締役会決議(当社)	平成28年10月27日
(2) 持分譲渡契約書締結日	平成28年10月27日
(3) 持分譲渡日	平成29年3月31日(予定)

IV. 今後の見通し

持分譲渡により、安全電具(惠州)有限公司は当社の連結子会社(孫会社)ではなくなります。

なお、2017年3月期の当社連結業績に与える影響は軽微であると考えておりますが、今後開示すべき事象が発生した場合には速やかにお知らせいたします。

以上